

社会貢献フォーラム  
学生たちの新たな挑戦

報告書

平成25年3月

公立大学法人 福岡県立大学

# 目 次

---

社会貢献フォーラムの開催にあたって	1
活動報告	
1. 海外語学実習紹介	
(1) 実習プログラムの概要	2
(2) 参加学生によるスピーチ	11
2. 社会貢献論演習成果発表	
(1) 「Ritorovo CoCoITA ができるまで」	12
(2) 学生調査報告（社会貢献論演習受講生） 「Ritorovo CoCoITA 知名度アップと今後の展望について」	18
3. 赤村お弁当販売における学生ニーズに関する調査報告	33
4. 東日本大震災ボランティア活動報告 「青春 18 きっぷで被災地へ」	37
5. ボランティアサークル活動報告	
(1) けんけつっち	45
(2) つくしんぼ	49
(3) TICADV 学生プロジェクト	53
(4) 写楽	57
(5) 防災学習会	62
寄せられた感想	66
社会貢献フォーラムの活動の流れ	68

## 社会貢献フォーラムの開催にあたって

福岡県立大学理事長・学長  
柴田 洋三郎



本日の社会貢献フォーラムは、盛りだくさんな内容となっております。タイトルといたしまして社会貢献フォーラムとありますが、この社会貢献というのは、学内では通りが良いのですが、外部の方から見ると、学生が社会貢献というのは、私自身もなんとなく抵抗があります。研究とか、学問の上で外部に対して大学が貢献するというのはわかりますが、学生が外に行っておじゃましているのが本当に社会貢献かと言われると、多少おこがましいところがあるのではないかと内心思っているところです。社会参加という位置づけの方がふさわしいのではないかと考えております。最近の大学で、社会貢献というものが取り入れられていますが、その理由の1つは大学の社会における位置づけというものがだいぶ変わりつつあるということではないかと考えております。

内藤湖南という方が、大正時代京都大学の先生だったのですが、当時大学教授は大変偉い存在でした。この方が、日本の歴史というのは、室町時代以降のことを勉強しておけばいい、それより前の平安とか、鎌倉の日本の社会とはほとんど関係ないと言われたと本に書いてあります。確かにそういうところがございます、そうならば非常に分かりやすかった訳です。

昔はそういうことで、非常に大きな話が出る時代、グランアレタイプ等の話ですが、啓蒙主義とかマルクス主義等いろいろな大きな話があって、それを金科玉条のように学生さんたちに伝えれば学生は一生それでなんとかやっていけるというようなところがありました。

歴史学者の網野義彦という方は、非常におもしろいことをおっしゃる方で、百姓は、我々は農民とイコールになっておりますが、本来は百

の姓だからどんな職業も百姓でそのひとつが農民である。百姓が農民と言われるようになったのは、江戸時代以降のことと言われたそうです。この方がおっしゃるには、内藤湖南さんの向こうをはったのでしょうか、日本の社会は、1990年のバブルが破裂した前と後でまったく変わってしまったとおっしゃっています。皆さまもお気づきだと思いますけれど、非常に一元的な産業競争社会から、多元的な多価値の知識基盤社会に現在大きく変わりつつあるわけです。もちろんその基盤といたしましては、インターネット等をはじめとする情報技術がたくさん発達しまして、従来図書館にこもっておればよかった、横文字の本を買ってきてそれを縦にすれば授業が出来たという時代から、学生さん自体が常々インターネット等で、フレッシュな生の情報に接するようになってきたということがございます。そのような時代ですから、大学も教育のやり方等々を変えなくてははいけない。そういった問題が今つきつけられています。

本日これから学生たちのいろいろな学外での経験等々を社会貢献フォーラムとしてご紹介させていただくわけでございますけれども、新しい大学教育のやり方として、このような発表の場をどんどん取り入れていかななくてはならない。ある意味では試行錯誤の段階ではないかなと思っております。ぜひ学外の方々にも学生さんたちの新たな挑戦というところを十分お聴きいただきまして、貴重なご示唆やありがたいご助言等をいただけたらと思っております。

本日は、よろしくお願ひ致します。

# 活動報告 1. 海外語学実習紹介

## (1) 実習プログラムの概要

Gale Ian Stuart 准教授

皆さん、こんにちは。人間社会学部のゲイルです。今から2012年の海外語学実習について話します。

2012年の夏、福岡県立大学の学生16名がイギリスでの海外語学実習に参加しました。2週間のプログラムが単位として認定されましたが、8名の学生はさらに2週間イギリスに滞在することを選びました。

出発前に、学生の皆さんは福岡県立大学で私が指導した22.5時間の事前研修に参加しました。この事前研修の目的は、日常の英語、日本とイギリスの文化の違い、そして学生がイギリスで行う調査の準備です（これについては後で説明します）。2012年からは、事前研修も単位として認定されることになりました。参加する学生は全部で2単位認定されます。事前研修で1単位、2週間のイギリスでの海外語学実習で1単位です。

最初の2週間、16名の学生は美しく歴史のある2つの都市に滞在しました。1つは大学で有名なオックスフォード、もう1つは2000年前にローマが温泉を作った場所バースです。オックスフォードでは、学生はオックスフォード・ブルックス大学のアパートに滞在し、バースではイギリス人家族の家にホームステイしました。学生は、2人か3人で1つのホストファミリーの家に滞在しました。学生とホームステイファミリーの皆さんが、強い絆で結ばれています。学生はイギリスで何をしたのでしょうか。

2週間のコースでは、オックスフォード、バース、ロンドンと7ヶ所の世界遺産（ストーンヘンジ、本初子午線のグリニッジ、2011年ウィリアム王子とケイトさんが結婚した場所であるウェストミンスター寺院等）に行きました。またイギリスの大英博物館、バッキンガム宮殿、コッツウォルズと、たくさんのハリーポッター

のロケ地（本物の Hogwarts の食堂等）に行きました。

これらの場所は、とても興味深く教育的です。私たちの海外語学実習は学生の就業力の向上に焦点を当てています。2週間のコースで、学生は大学の1学期間の時間数と同じ22.5時間の授業に参加しています。この授業の目的は、教育や雇用、健康管理について話し合うこと、そして学生それぞれの調査です。

いつも、オックスフォード・ブルックス大学やバース大学の学生が ALT として参加し、1人のイギリスの学生が4,5人の日本の学生の手伝いをしました。このことによって本学の学生は英語を改善することができ、そしてイギリスの学生からデータを集めることができました。

それぞれの学生は、イギリスに行く前の事前研修で作った10の質問の調査票を基に調査を行いました。学生は4つの題目から1つを選び、同じ質問がないように調査票を作りました。看護学部の学生はイギリスでの看護について、人間社会学部の学生は介護か教育かイギリスの公民館について、それぞれ調査を行いました。インタビューされるイギリス人は、これらの領域の専門家でした。学生たちは、最新で詳細なデータを集めることができました。そして、レポートで日本の同じようなデータとイギリスのデータを比べることができました。

学生は、イギリスの小学生に教える機会がありました。このティーチング・プラクティスは、バースの公民館で行われました。イギリスの子どもに折り紙や書道、そして簡単な日本語を教えたりしました。とても楽しくて、みんなにとって有益な経験になりました。

4週間コースの学生は、3週目にイギリス人の ALT と英語の勉強を続けました。さらに、私たちは世界遺産のジュラシックコーストやシェイ

クスピアの生家のストラトフォード・アポン・エイヴォンで俳優が彼の劇のいくつかの場面を演じているのを見学しました。そして、ウェールズの首都カーディフ、リーズ城、カンタベリーに行きました。3日間、私たちはカンタベリー・クライスト・チャーチ大学の寮に宿泊しました。カンタベリーは小さくて美しい都市で世界遺産の壮大な教会があります。カンタベリーで大学の案内をしてもらいました。

カンタベリーからパリに行きユースホテルに3日間宿泊し、有名な場所を観光しました（エッフェル塔、ノートルダム大聖堂、エトワール凱旋門等）。ルーヴル美術館では、モナ・リザ、ミロのヴィーナスを見ました。セーヌ川のクルーズにも参加しました。とてもすばらしかったです。

海外語学実習の最終日にイギリスに戻り、エリザベス女王の家の一つのウィンザー城に行きました。

結論として、2012年の海外語学実習では3つの成果がありました。1つ目は、英語能力の改善、2つ目は、役に立つ調査を行ったこと、3つ目は、就業力向上のための学校や公民館での経験です。実習によって、学生は自信や英語を勉強することのモチベーション、そして将来海外で働くことや留学することへの興味を持つことができました。

この場をお借りして、人間社会学部長小松啓子先生と海外語学実習プログラムを支援し、成功させて下さったすべての方に感謝申し上げます。

ありがとうございました。



## 海外語学演習プログラム イギリス 2012年

英語学習 + ホームステイ + 世界遺産 (7~10か所)

2週間コース 8月16日~8月29日

4週間コース 8月16日~9月13日

3

## Pre-UK Preparation Course

- Language  
("Survival English")
- Culture  
(UK vs. Japan)
- Research



4



5

## ホームステイ



ホームステイはイギリスの家庭生活を知る一番の方法です。ホスト・ファミリーは、日本人に慣れていて、親切でフレンドリーです。何年もホストファミリーをしている方もあります。基本的に各家庭に2名ずつホームステイ。

6

## Oxford



7

## Bath



8

英国の観光  
London



9

英国の観光  
London



10

英国の観光  
London



11

英国の観光  
Stonehenge



12

英国の観光  
Greenwich (GMT)



13

英国の観光  
Westminster Abbey



14

英国の観光  
The British Museum



15

英国の観光  
Buckingham Palace



16

英国の観光  
The Cotswolds



17

英国の観光  
Harry Potter (Hogwarts)



18



19

英語レッスン

- ALT(イギリスの大学生)と共に、4~5人の少人数グループに分かれて、効率的にあなたの英語力を伸ばします。イギリスの同年代の大学生と日本の文化やイギリスの文化について語り合いながら交流を深めることができます。



20



